

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	0
施設名	にこ森保育園
施設所在地	青梅市新町4-14-16
法人名	株式会社モアスマイルプロジェクト

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

### 【①テーマを決める】

自然（植物）

四季を感じられる当園の園庭の特徴を活かし、「植物」をテーマとして設定する。植物は、子どもたちが日常生活でよく見る身近なものであり、日頃から園庭に限らず、散歩や遠足などで、子どもたちが興味を持っている姿が見られることから園庭や園外で四季を感じたり、植物の育ちや、名前、特徴などについて、子どもたちの興味関心をさらに深めるため。

<テーマの設定理由>

昨年度、園庭で育てている「梅」を使って、梅ジュースに挑戦したが、上手に作れず、今年度もチャレンジしようと、子どもたちは楽しみにしていたが、「梅」が不作だったため、形が似ている「すもも」でジュースを作ったら、どうなるか？を試してみることにした。

また、乳児クラスでは、昨年度「ブルーベリージャム」を作り、今年も楽しみにしていたが、不作だったため、「やまもも」でジャムは作れるか？どんな味になるか？に挑戦することにした。

## 2. 活動スケジュール

令和6年5月～6月

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

1. 砂糖、へら、なべ、IH機器、瓶
2. 折り紙、黒画用紙
3. 植物がたくさん見られるような場所設定
4. 移動用の車（自社が保有する山に行って活動するため）

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

昨年度、園庭で育てている「梅」を使って、梅ジュースに挑戦したが、上手に作れず、今年度もチャレンジしようと、子どもたちは楽しみにしていたが、「梅」が不作だったため、形が似ている「すもも」でジュースを作ったら、どうなるか？を試してみることにした。

また、乳児クラスでは、昨年度「ブルーベリージャム」を作り、今年も楽しみにしていたが、不作だったため、「やまもも」でジャムは作れるか？どんな味になるか？に挑戦することにした。すももを自分で収穫し食べてみることですももの味を知る。ジュースにしたらどうなるかを考えきれいに洗ったすももと氷砂糖を順番に手袋をしながら隙間なく詰め込んでいき観察を行う。氷砂糖の解け具合を観察しながら色の変化を楽しみ、ある程度氷砂糖が溶け切った所でできたシロップを水で薄め飲む。梅に比べ甘みが強く色もピンク色できれいでおいしいジュースが出来た。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

園庭で育てている様々な植物を見て、毎年なるブルーベリーややまもも、梅など子どもたちは楽しみにしている様子で、「今年はまだ梅はできないのかな？」「これって食べられるのかな？」など保育士に声かけをしていた。特にやまももは、今まで収穫したことがなかったので、食べられることを知らなかったことを再発見し、その場で「食べられるかな？」と保育士が食べてみたら、子どもたちも「食べたい！」と大騒ぎをして、実際収穫することや食べてみての感想など一緒に楽しむようにした。また、ジャム作りやジュース作りでは、子どもたちの意見を聞きながら、子どもたちの味覚や嗅覚、視覚などの五感を育むような関わりをした。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは、園庭にある植物をよく見ている、大切にしていることを改めて知ることが出来た。子どもたちがより一層楽しめるように、子どもたちが育てたいものを育てることも良いと感じた。